

である。

(22) 済州島にあるカニクサの一種に、子囊穗が長くて 5-10 耗ばかりもあるものがある。これを新変種にして *Lygodium japonicum* Sw. var. *macrostachyum* Tagawa と命名した。

(23) *Mecodium recurvum* Copel. var. *angustum* Tagawa ハワイ群島産の新変種、

(24) 支那西南部にある *Microlepia tenera* Christ は台湾の阿里山にもある。

(25) カウザキシダの学名には *Asplenium ritoense* Hayata がよい、*A. davallioides* Hook. や *A. dareoidea* Mak. は古い同名があるから使用できない。

(25) 琉球や台湾にあるラハオシダ *Hymenasplenium rahaense* Hayata は支那西南部、ビルマ、トンキン、馬來半島にもある。

(27) 北支、満洲、朝鮮にあるイハカゲワラビ *Dryopteris laeta* C. Chr. は北海道にもある。

(28) *Dryopteris nigra* Ching を命名規約上 *D. lepidopoda* Hayata の異名にした。

(29) ヒメイタチシダ *Dryopteris sacrosancta* Koidz. は山東省の嶗山にもある。

(30) 南支那の *Colysis hemitoma* Ching は沖縄にもある。ヤリノホランの葉のふちに突起がでたようなもの。

(31) 奄美大島にあるアヲネカヅラの一様はアヲネカヅラ *Polypodium niponicum* Mett. にくらべて根莖が太く、鱗片は大きく、葉に毛が少い。また台湾の *P. transpianense* Yaman. にくらべて葉柄は無毛、葉に毛が少く、*P. raishaense* Rosenst. にくらべて葉は小さく、下面に毛が多く、鱗片は褐色、細くて短い。それを新種にしてアマミアヲネカヅラ *Polypodium amamianum* Tagawa と命名した。

山崎 敬*: 東亞産** ゴマノハグサ属 (1)

Takasi YAMAZAKI: *Scrophularia Asiae orientalis* (1)

I) ゴマノハグサ属の区分. Sprengel (1825) はゴマノハグサ属を初めて小分けし葉の形に基いて 4 区分した。Wydler (1828) は仮雄蕊のあるものとないものとに大別し、G. Don (1831) は前者を *Scordioia* 後者を *Venilia* と命名した。Reichenbach (1831) も同じ性質で *Ceramanthe* と *Scrophularia* に区分し、後に *Ceramanthe* を新属としたが現在は認められていない。

Bentham (1846) は草状、花冠の形、仮雄蕊によつて次の 3 節に区分した。Sect. I, *Venila* (草本、花冠裂片は等長、仮雄蕊を欠く)。Sect. II, *Scordonia* (草本、葉は網状

* 東京大薬理學部植物學教室

** ここでは樺太、千島、北海道、本州、四國、九州、臺灣、朝鮮、満洲、華北及び蒙古、華中の一部を含む。
本論文は 2 回で完結する。

脈，花冠上唇は伸長，仮雄蕊は鱗片状)。Sect. III, Tomiophyllum(亜灌木，葉は厚く葉脈は叉状または僅に網状しばしば欠刻す，仮雄蕊は種々の形をなす)。

Boissier (1879) は五節に区分し，Urban (1899) は新節を加えている。以上はいずれも仮雄蕊に重きを置いたものであり Stiefelhagen (1910) はそれを不適當として新たな分類をした。Bentham の分類系にもかなりの妥当性があるように思われるが，東亞は分布としては末端であり今これを批判するのは不可能であるから一応 Stiefelhagen に従っておく。その区分は次の通りである。

Sect. I, Anastomosantes. 草本または亜灌木，大きなよく発達した葉を有し，葉脈は明瞭な網状。

1) Vernales. 花冠裂片は等長。分布，ヒマラヤ，小アジア，コーカサス，歐洲，西印度諸島。約 9 種。

2) Scorodoniae. 花冠上唇は下唇より伸長。北半球の温帯，亞寒帯地方一帯に分布。約 150 種。

Sect. II, Tomiophyllum. 多く乾燥地に生育し，灌木，葉は小さく貧弱であり，葉脈を欠くかまたは不明瞭，しばしば欠刻する。

1) Farinosae. 花冠筒部は細長い円筒状をなし萼の約 3 倍。分布，ペルシヤ，1種。

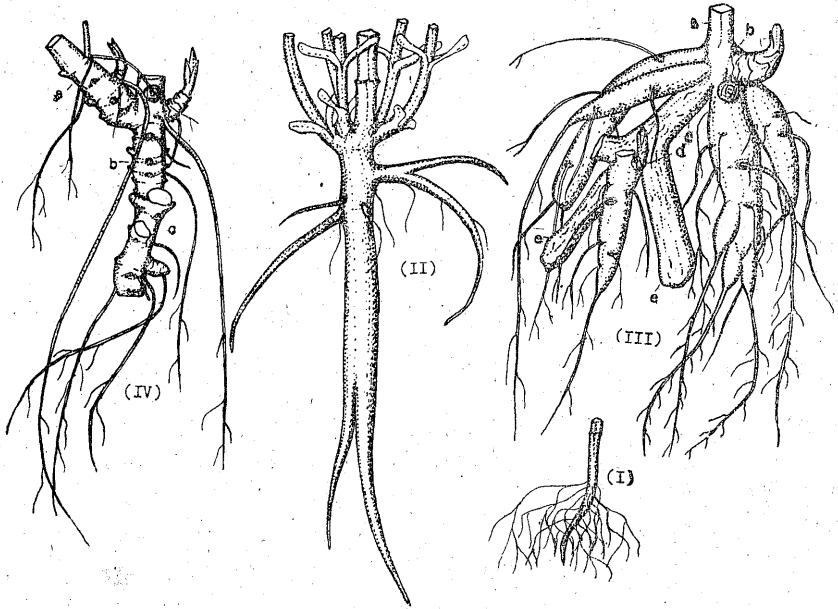
2) Orientales. 花冠筒部は膨大し萼の 2 倍以下，上下唇は等長。分布，ペルシヤ，コーカサス，アルメニア，3 種。

3) Lucidae. 花冠筒部は膨大し萼の 2 倍以下，上唇は下唇より長い。分布，北アフリカ，歐洲南部，小アジア，ペルシヤ，コーカサス，西部ヒマラヤ，中央アジア，ロシア南部，アルタイ，シベリヤ南部，蒙古，満洲，約 60 種。

東亞に分布するものは，*S. incisa* が Tomiophyllum-Lucidae に属す外すべて Anastomosantes-Scorodoniae に属す。

II) 形態的特徴。ゴマノハグサ属は形態的变化の少い群であり，特徴として取りうる性質はあまり多くない。根は比較的安定した性質であり群の特徴を示す。Tomiophyllum は木質化してあまり肥厚しない，Anastomosantes では一年生の細長い形から結節状の肥厚した形まで種々である。葉は Tomiophyllum では厚い肉質となり，したがって脈は不明瞭となる，また欠刻となるものが多い。Anastomosantes では葉の質が薄く欠刻となるものは少い，このことは前者が多く乾燥地に生育する生態的な条件が多分に影響しているものと考えられる。葉身の形や鋸歯の形は種の特徴となる。莖は 4 稜形で種類によつて稜に翼や條線が現われる。萼片は円形から三角形まで種々の変化があるが種の特徴以上には出ない。花冠は群の区分にあげたようないくらかの相違はあるがそれ以外はほぼ同形であり変化が少い。蜜腺の形は種類によつてある程度の固定性はあるが変化が多く，類縁上の意義はあまり認められない。蒴果の形は球形から卵形までいくらかの変化があり種によつて一定しているが，球形とか卵形といつても類似した形であり，特

徴として使うのは幾分困難である。以上のように固定した性質として類縁的にとりあげられる特徴は少い。



(I) *S. Moellendorffii*; (II) *S. takesimensis*; (III) *S. kakudensis*;
(IV) *S. duplicato-serrata*;

III). *Scrorodoniae* における地下部の形態。東亞産のものにはいくつかの大きな群が認められる。主としてその特徴が地下部にあるため、標本でも、図からもそれを見る機会が少く、他の地域でも同様な区別が認められるかどうかは不明である。

主な種類での地下部の特徴を述べると、

S. Moellendorffii (図 I), 根は細い貧弱な主根を有しその上部から多数の鬚根を出す、恐らく一年生と思われる。

S. takesimensis, (図 II), 秋に地下部は肥厚して大根状となり地上部は枯れて越冬し、翌年根と莖の融合部から 1—2、時に多数の芽をだす。肥厚する部分は主として根であり莖の最下部が小部分加わる。

S. kakudensis (図 III), 秋に前年からの古い根の一部と莖の下部との融合点 (b) の木質化した部分から 2—5 のダリヤ状の新しい白い紡線形の塊根を生ずる。この先は次第に細くなつて細い根となり。肥厚部の所々から不規則に鬚根をだす。したがつてこの肥厚部は根であり芽をだす部分は b 部に限られる。塊根の位置は不規則であり対

生関係は芽の部分でのみ現われる。芽をだす部分の小さいことから芽の数は少く多くは1—2である。前年の古い根は大部分腐るけれども時に上部が残つて貯藏物を蓄積し、しばしばその側部に新しい塊根を発生させる。図は少し異常の場合であり、eが前年の根であり、cはa,bと共に今年の莖であつたと思われる、cが伸び初めた後地中に埋り、発生部がbに移つたものと思われる。発生能力の大部分はb部にあるがd部にも弱いけれども発芽、発根能力が残つていると考えられる。

S. *duplicato-serrata*, (図IV), cは前々年の部分であり、上から2節目の対生芽の一方は前々年に頂芽と共に発育し、一方は一年遅れて前年に発芽しb部に発達している、その上の節の一对と下の節の一方は休眠芽となり芽であるよりは貯藏器官に発達している。bは前年発達したものであり上から2節目の一方は今年発達しa部となり一方は來年の芽となつている、この関係はcと同様である、その上の節の一对は休眠芽でありいつでも発芽しうる体制にある、a部は今年地上部を発達させた部分であり上から3節目の一方が翌年の芽となつている、このことは移植により地上部が枯れ第1節、第2節の一方が今年の内に発育してしまつたことによると思われ、bの第2節の発芽も影響をうけているのかもしれない。以上のことから肥厚する部分は莖であり、秋になると莖の地下部の前年の分岐点から4—5節の間が肥厚し地上部は枯れる、各節には未発達の芽が対生し多くの場合一つの芽が発達すると他の芽の発達を抑制するようであるがしばしば多くの芽が同時に発達して多数の地上莖が叢生することがある。

IV) *Scorodoniae* の区分。以上の特徴を主として東亞のものはヒメゴマノハグサ列 (*Modestae*)、エゾヒナノウスツボ列 (*Grayanae*)、オオヒナノウスツボ列 (*Kakudenses*)、ヒナノウスツボ列 (*Musashienses*) に区別される。

双子葉類に於て典型的な、一本の主根と多数の細い側根をもつ形を基準と仮定すると *Modestae* は非常に貧弱となつた形で、ゴマノハグサ科で多く見られる寄生根となつてゐるのではないかと想像される、主根がそのまま貯藏器官となつて肥厚すれば *Grayanae* の形が導かれ、貯藏器官が主根のみに限らないかまたは主根が腐つて側根が貯藏器官として発達すると *Kakudenses* が導かれ、根のかわりに莖の地下部が貯藏器官として発達するのが *Musashienses* である。東亞の種類ではこれらの相異が明瞭であるが属の中心である小アジア、コーカサス地方では恐らく各群の移行形態が見られ群の区分も困難になるのではないかとと思われる。

Scrophularia L. (1753,* 619); Sprengel (1825, 783); Reichenbach, (1831, 376); Endlicher, (1839, 671 no.3833); Bentham, (1846, 302); Bentham et Hooker, (1876, 937); Boissier, (1879, 387); Wettstein, (1897, 651); Dalla Torre et Harms, (1904, 456, no.7505); Stiefelhagen, (1910, 409).—*Ceramanthe* Reichenbach.

* 1753 は發表年號, 619 は本の頁數であり, 書名は末尾の文獻参照のこと, 以下これに同じ。

Sect. I, **Tomiohyllum** Bentham (1846, 310); Stiefelhagen, (1910, 429).

Suffrutex. Folia crassiuscula, venis subnullis.

1) **S. incisa** Weinmann, Ind. Pl. Hort. Dorp., : 136, (1810); Ledebour, (1830-a, 442); (1830-b, 18, tab. 156,); (1846-51, 219); Turczaninow, (1849, 304); Herder, (1871-72, 577); Maximowicz, (1879, 34); Komarov, (1907, 413); Stiefelhagen, (1910, 478) Kitagawa, (1939, 397).

Hab. Mongolia: Pê-ling-miao (百靈廟) (S. Miki, Aug. 1942, Herb. Kyoto).

Sect. II, **Anastomosantes** Stiefelhagen, (1910, 455).

Herba. Folia chartacea vel membranacea, venis anastomosantibus.

Subsect. **Scorodoneae** (Bentham) Stiefelhagen, (1910, 455).

Series I, **Modestae** Yamazaki, ser. nov.

Annuae. Radix gracilis perpendiculosa. Caulis infirmus exalatus. Folia membranacea. Capsula globosa.

2) **S. Moellendorffii** Maximowicz, (1880, 510); Stiefelhagen, (1910, 461); *S. modesta* Kitagawa, (1935-a, 28, tab. III); (1939, 396).

Hab. Manshuria : Jehol, Wu-ling-shan (霧靈山),

Series II, **Grayanae** Yamazaki, ser. nov.

Perennis. Radix crasse perpendiculosa. Caulis rigidus alatus vel exalatus, sed petiolis alatis semiamplexicaulibus. Folia carnosomembranacea. Capsula ovoideoconica vel globosa.

1) { Caulis exalatus. Folia magna latissime ovata obtuse vel mucronulate grandiserrata. Corolla 7-3 mm. longa, tubo 5-6 mm. longo, labio superiore circ. 2 mm. longo. Capsula globosa 8-9 mm. longa. *S. takesimensis*.
Caulis alatus. Folia acute vel mucronate serrata. Capsula ovoidea. ... (2).

2) { Folia ovata apice acuminata, serris mucronatis parvis acutis. Collora 7-8 mm. longo, tubo circ. 4 mm. longo, labio superiore circ. 3 mm longo.
Capsula 3-3 mm. longa 4-6 mm. lata. *S. borealikoréana*.
Folia late ovata margine mucronate serrata. Corolla 8-10 mm. longa, labio superiore 4-5 mm. longo, Capsula 7-10 mm. longa 5-7 mm. lata. ... *S. Grayana*.

3) **S. Grayana** Maximowicz, ex Komarov, (1907, 415); Stiefelhagen, (1910, 468); Miyabe et Miyake, (1915, 342); Furumi, (1916, 110). — *S. alata* (non Gilibert) A. Gray, (1859, 401); Fr. Schmidt, (1868, 162); Franchet et Savatier, (1875, 342); Maximowicz, (1879, 37); Makino, (1898, 226). エゾヒナノウスツボ.

Hab. Saghalien : 池辺嶺, 宗仁, 海馬島. Kuriles : 擇捉島. Hokkaido : Prov. *Isikari*, 札幌. Prov. *Hidaka*, 冬島, アボイ, 釧内. Prov. *Iburi*, 室蘭. Prov. *Nemuro*,

根室. Prov. *Kusiro*, 厚岸. Prov. *Osima*, 函館. Honsyu : Prov. *Mutu*, 淺虫, Prov. *Uzen*, 金沢, 湯浜. Prov. *Ugo*, 岩館. Prov. *Etigo*, 粟島, 佐渡. Prov. *Rikuzen*, 松島. Prov. *Noto*, 輪島.

4) **S. takesimensis** Nakai, (1938, 635)—*S. Grayana* (non Maximowicz) Nakai, (1919, 25). Distr. Korea : Ins. Dagelet.

5) **S. borealikoreana** Nakai, (1938, 632)—*S. alata* (non Gilibert nec A. Gray) Nakai, (1911, 118).—*S. Grayana* (non Maximowicz) Nakai, (1923, 69, excl. spec. ex Dagelet.).

Hab. Korea : Prov. *Kanhoku*, 黃雪嶺, 漁大津, 清津, 朱乙. Prov. *Kamnan*, 西湖津. Prov. *Kogen* 海金剛.

Series III, **Kakudenses** Yamazaki. ser. nov.

Perennis. Radix consociate tuberosa vel nodosa. Caulis petiolusque exalatus vel palum scarioso-striatus. Folia chartacea. Capsula ovoideo-conica.

- | | | |
|----|---|--|
| 1) | } | Inflorescentia terminalis angusta tanquam panicula spiciformis. Corolla flavovirens 6-7 mm. longa. Capsula circ. 5 mm. longa 3 mm. lata. Sepala late ovata obtusa. (2) |
| | | Inflorescentia terminalis vel axillaris paniculata laxe florifera. Corolla atropurpurea 6-9 mm. longa. Capsula 6-9 mm. longa 4-6 mm. lata. Sepala rotundata — lanceolata. (3) |
| 2) | } | Planta magna 90-150 cm. alta. Folia magna 6-8 cm. longa 3-4 cm. lata. <i>S. Buergeriana</i> . |
| | | Planta 30-70 cm. alta. Folia 2-3 cm. longa 1.5-2.5 cm. lata. <i>S. Buergeriana</i> var. <i>quelpartensis</i> . |
| 3) | } | Sepala rotundata. Inflorescentia terminalis sparsa. <i>S. ningpoensis</i> . |
| | | Sepala ovata vel lanceolata. (4) |
| 4) | } | Sepala lanceolata. Inflorescentia axillaris laxe florifera. (5) |
| | | Sepala ovata acuta vel obtusiuscula. Inflorescentia terminalis. (6) |
| 5) | } | Planta glabra. <i>S. koraiensis</i> . |
| | | Planta velutina. <i>S. koraiensis</i> var. <i>velutina</i> . |
| 6) | } | Planta magna. Folia caulina 5-12 cm. longa 3-5 cm. lata. <i>S. kakudensis</i> . |
| | | Planta minor. Folia caulina 2-4 cm. longa 1-2 cm. lata. <i>S. kakudensis</i> var. <i>microphylla</i> . |

6) **S. kakudensis** Franchet, (1879, 87); Makino, (1898, 226); Furumi, (1916, 110) Nakai, (1923, 69); (1938, 636); Makino, (1940, 151, tab. 452); Kitamura, (1941, 175).

—*S. nodosa* (non L.) Stiefelhagen (1910, 461, quad specimen in Japan et Korea);

Makino, (1912, 857, tab. 56); Matsuda, (1914, 38) オオヒナノウスツボ.

Hab. Hokkaido: Prov. *Osima*, 函館. Honsyu: Prov. *Iwaki*, 三春. Prov. *Etigo*, 粟島, 湯元. Prov. *Simotuke*, 日光—花石. Prov. *Sinano*, 戸隠, 三嶽村, 川上村, 南軽井澤, 菅平. Prov. *Musasi*, 上野, 赤羽, 志木, 刈寄山. Prov. *Sagami*, 丹澤山. Prov. *Suruga*, 愛鷹山. Prov. *Kai*, 篠井山. Prov. *Totomi*, 小笠山. Prov. *Yamasiro*, 比叡山, 大原村. Prov. *Kii*, 御船村. Sikoku: Prov. *Awa*, 徳島, 劔山. Kyusyu: Prov. *Tikuzen*, 雷山. Prov. *Bungo*, 大船山. Korea: Prov. *Heihoku*, 宣川. Prov. *Kogen*, 長箭. Prov. *Keki*, 光教山, 南山, Prov. *Keinan*, 智異山. Prov. *Zennan*, 白雲山. var. **microphylla** Nakai, (1938, 637.) Distr. Korea: Ins. Quelpeart.

7) **S. koraiensis** Nakai, (1909, 189); (1911, 113); (1918, 184); (1923, 69); (1938, 635). — *S. erecta* Stiefelhaven, (1910, 458).

Hab. Korea: Prov. *Kogen*, 金剛山. Prov. *Kannan*, 長津湖. Prov. *Heinan*, 狼林山.

var. **velutina** Sakata, ex Ueki et Sakata, (Feb., 1938, 16). — *S. paecamicola* Sakata, (l. c. pro syn.). — *S. pilosa* Nakai, (Oct. 1938, 632).

Hab. Korea: Prov. *Keihoku*, 日月山. Prov. *Heihoku*, 大紅山. Prov. *Kannan*, 元豊里.

8) **S. ningpoensis** Hemsley, (1890, 171); Stiefelhaven, (1911, 26). — *S. nodosa* (non L.) Stiefelhaven, (1910, 461), pro parte.

Hab. China: Prov. *Chekiang*, Hang-chou (杭州) (K. Honda, no. 422, Oct. 1909, et no. 59, nov. 1909).

9) **S. Buergeriana** Miquel, (1865, 116); Kitamura, (1941, 175). — *S. Oldhami* Oliver, (1867, 167); Franchet et Savatier, (1879, 343); Maximowicz, (1879, 36); Franchet, (1884, 222); Hemsley, (1890, 179); Makino, (1898, 226); Komarov, (1907, 415); Stiefelhaven, (1910, 462); Nakai, (1911, 118); Makino, (1912, 857 tab. 55); Furumi, (1916, 110); Nakai, (1938, 634); Kitagawa, (1939, 397); Makino, (1940, 151, tab. 453) — *S. Buergeriana* Miquel var. *distantifolia* Miquel, l. c. — *S. Oldhami* Oliver β. *distantifolia* (Miquel) Franchet et Savatier, l. c., ゴマノハグサ

Hab. Honsyu: Prov. *Iwasiro* 會津新道. Prov. *Musasi* 東京. Prov. *Sinano*, 霧峯. Prov. *Kai*, 山中湖. Prov. *Suo*, 鳳翔山. Prov. *Nagato*, 三隅. Kyusyu: 壹岐. Prov. *Higo*, 丙牧, 阿蘇, 白髮山. Prov. *Osumi*, 高隈山. Korea: Prov. *Heinan*, 平壤, 大宝山. Prov. *Keiki*, 高陽, 清涼里, 長端. Manshuria: Prov. *Chi-lin*, Feng-hwangling (鳳凰嶺). Prov. *He-lung-chiang*, Wang-yeh-miao (王爺廟).

var. **quelpartensis** Yamazaki, var. nov.

Planta infirma 30-70 cm. alta. Folia parva 2-3 cm. longa 1.5-2.5 cm. lata.

Hab. Quelpart Isl. (E. Taquet, Aug. 1911, no. 6043 -typus; Aug. 1912, no. 2).

Series IV, **Musashienses** Yamazaki, ser. nov.

Perennis. Radix fibrosa. Caulis hypogaeus crasse breveque rhizomatosus, epigeus flaccidus exalatus. Folia membranacea vel chartacea, Capsula globosa.

- 1) { *Planta rigida. Folia chartacea minute serrata. Inflorescentia axillaris laxa 2-8 florifera. Capsula ovate globosa.S. Yoshimurae.*
Planta flaccida. Folia membranacea grosse duplicato-serrata. (2).
- 2) { *Inflorescentia axillaris foliis brevior 1-3 florifera. Corolla 9-11 mm. longa. Capsula ovato-globosa.S. musashiensis.*
Inflorescentia terminalis laxa multiflorifera. Corolla 7-9 mm. longa. Capsula globosa.S. duplicato-serrata.

11) **S. musashiensis** Bonati, (1911, 520); Furumi, (1916, 110), サツキヒナノウスツボ.

Hab. Honsyu: Prov. *Musasi*, 御岳, 高尾山, 刈寄山, 大岳, 川苔山, 城山, 大瀧村, 五日市, 伊豆岳, 日原.

11) **S. duplicato-serrata** Makino, (1906, 4); Stiefelbogen, (1910, 462); Furumi, (1916, 109); Makino, (1940, 151, tab. 451). — *S. alata* A. Gray var. *duplicato-serrata* Miquel, (1866, 47); Franchet et Savatier, (1875, 343); Maximowicz, (1879, 36); Makino, (1898, 226). — *S. alata* A. Gray var. *grandiserrata* Maximowicz, (1879, 37). — *S. musashiensis* Bonati var. *surugensis* Honda (1931, 44). ヒナノウスツボ.

Hab. Honsyu: Prov. *Simotuke*, 上都賀郡 二股山. Prov. *Musasi*, 川苔山. Prov. *Sagami*, 箱根. Prov. *Izu*, 天城山. Prov. *Suruga*, 天子嶽, 高根山. Prov. *Totomi*, 秋葉山. Prov. *Kai*, 安倍峠. Prov. *Wakasa*, 三十三間山. Prov. *Yamasiro*, 鞍馬山. Prov. *Kavati*, 金剛山. Prov. *Yamato* 大臺原. Prov. *Kii*, 龍神村, 川上村. Prov. *Suo*, 寂地山. Sikoku: Prov. *Awa*, 鷺山. Prov. *Tosa*, 名野川村. Kyusyu: Prov. *Bungo*, 犬岳, 権現山. Prov. *Tikugo*, 御前岳. Prov. *Higo*, 笹越. Prov. *Hyuga*, 祖母山, 國見岳.

12) **S. Yoshimurae** Yamazaki, sp. nov. — *S. alata* A. Gray var. *duplicato-serrata* (non Miquel) Hayata, (1908, 172), — *S. duplicato-serrata* (non Makino) Sasaki, (1928, 369) — *S. hakudensis* (non Franchet) Kitamura (1941, 175).

Herba. Radix ignota. Caulis solitarius simplex vel ex axillis foliorum ramulum emittens, tetraqueter ad angulos acutus faciebus planis vel paulum sulcatis glaber quam 50 cm. altior. Folia opposita, petiolis exalatis 5-15 mm. longis glabris, laminis oblongo-ovatis apice acutis vel elongato-acutis basi rotundatis margine argute serratis vel duplicato-serratis 4-13 cm. longis 2-5 cm. latis utrinque glabris chartaceis. Racemi ad axillas foliorum superiorum siti, laxa 2-8 floriferi. Pedunculi glabrescentes vel sparse glanduloso-puberuli. Pedicelli rigidi erecti subdense glanduloso-puberuli 1-2 cm.

longi. Bracteae parvae anguste lineares 2-5 mm. longae. Calyx profunde 5-partitus extus glaber, laciniis late ovatis acutis vel acutiusculis utrinque glaberrimis sub lente dense pellucido-punctatis medio 1-nervatis in anthesi 2-3 mm. longis 2 mm. latis in fructu 4-5 mm. longis 3-4 mm. latis. Corolla atro-purpurea urceolata 7-8 mm. longa 2-labiata, tubo 5 mm. longo, labio superiore labio inferiore longiore 3-lobato 1.5 mm. longo. Stamina tubo corollae subaequilonga, filamentis glanduloso-puberulis 4 mm. longis, antheris transverse ellipticis 1 mm. longis 1.5 mm. latis. Stamina ad medium labii superiores affixum brevissime stipitatum flabellatum atro-purpureum 0.7 mm. longum 1 mm. latum saepe nullum. Ovarium late deltoideo-conicum glabrum, apice senim in stylum 3-4 mm. longum capitato-stigmatosum persistentem transeuns. Capsula globosa 7-8 mm. longa 6-7 mm. lata apice attenuate acuta. Semina ignota.

Hab. Formosa : in monte Arisan (阿里山) inter Nitakaguti (新高口) et Sekizan (石山) (Yoshimura-B., 21, Jul. 1941, -typus in Herb. Univ. Tokyo); in monte Niitaka (Nakahara-G., Nov. 1905); Bunkiko 1500 m. alt. (Faurie, no. 1463, Dec. 1914, Herb. Kyoto); Nôkôgoe (能高越) (J. Ohwi, 23 Jun, 1933, Herb. Kyoto).

Species non satis notae.

S. latisejala Kitagawa, (1935-b, 230).

S. cephalantha Nakai, (1938, 634).

S. shikokiana Kitamura, (1941, 176).

Litterae.

Bentham G., in De Candolle, Prodr. Syst. Natur. Veget., 10: 302-317, (1846); Bentham et Hooker J. D., Genera Plant., 2: 937-938 (1876); Boissier E., Flora Orient., 4: 387-421 (1879); Bonati M. G., in Bull. Soc. Bot. France, 11: 519-523 (1911); Dalla Torre C. G. et Harms H., Genera Siphonog. 456, no. 7505 (1904); Endlicher S., Genera Plant., 2, 671, no. 3883 (1839); Forbes F. B. et Hemsley W. S., in Journ. Linn. Soc., 26: 178-179 (1890); Franchet M. A., in Bull. Soc. Acad. France, 26: 87, (1879); 46: 11-16 (1900); Plant. David. Mongolie, 221-222 (1884); Franchet M. A. et Savatier L., Enum. Plant. Japonicarum, 1: 342-343. (1875); Furumi M., in Tokyo Bot. Mag., 30: 109-110. (1916); Gray A., on the Botany of Japan, in Mem. Amer. Acad. Art. Sci., 6: 401. (1859); Hayata B., Fl. Mont. Formosae : 172. (1908); Herder E., Pl. Raddean. Monopet. : 294-296, (1871-72); Honda M., in Tokyo Bot. Mag., 45: 44. (1931); Kitagawa M., in Rep. First Sci. Exped. Manchoukuo, 4-2: 27-29, tab. VIII. (1935-a); in Tokyo Bot. Mag., 49: 230. (1935-b); Lineam. Fl. Manshuri-ae: 396-397 (1939); Kitamura S., in Act. Phyt. Geobot., 10: 175. (1941); Komarov

V. L., Fl. Manshuriae, 3: 413-417, (1907); Ledebour C. F., Fl. Altaica, 2: 439-443. (1830-a); Icon. Plant. Imperf. Cognit. Fl. Rossicam Impr. Altaicam, 2: 18, tab. 156. (1830-b); Fl. Rossica, 3: 214-222. (1847); Linnaeus C., Sp. Plant., 2: 619-621. (1753); Makino, T., in Tokyo Bot. Mag. 12: (226), (1898); 20: 4. (1906); in Inuma, Sô-moku-Dzusesetsu, 3: 856-857, tab. LIV-LV (1912); Illust. Fl. Nippon: 151, tab. 451-453. (1940); Matsuda S., in Tokyo Bot. Mag., 28: 38. (1914); Maximowicz C. J., Fl. Asiae Orient. Fragmenta, 34-38, (1879); in Bull. Acad. Imper. Sci. St-Petersbourg, 26: 501 (1880); Miquel F. A., Ann. Mus. Bot. Lugduno-Batavi 2: 115-116 (1865); Prol. Fl. Iaponicae: 47-48, (1866); Miyabe K, et Miyake T., Fl. Saghalin: 342-343 (1915); Nakai T., in Tokyo Bot. Mag., 23: 189 (1909); Flora Koreana, 2: 118 (1911); Rep. Veget. Diamand Mount. Corea: 184, tab. 5-i (1918); Rep. Veget. Isl. Dagelet Corea: 25 (1919); Fl. Sylvat. Koreana, 14, 69 (1923); Journ. Japanese Bot., 14, 631-637 (1938 Otc.); Oliver D., in Journ. Linn. Soc., 9: 167 (1867); Reichenbach L., Fl. Germanica: 376-378 (1831); Icon. Fl. Germ. Helvet., 20: 24-27 tab. MDCLXXI-MDCLXXVI (1862); Sasaki S., List. Pl. Formosa: 369 (1928); Schmidt Fr., in Mem. Acad. Imper. Sci. St-Petersbourg, 12: 162 (1868); Sprengel C., Syst. Veget. 2: 619-621 (1825); Stiefelshagen H., in Engl. Bot. Jahrb. 44: 406-496 (1910); in Abhandl. Bot. Prov. Brandenburg, 53: 26-28 (1911); Turczaninov N., Fl. Baical. Dahur. 2: 303-305 (1850); Ueki H. et Sakata T., in Act. Phyt. Geobot., 7: 16 (1938 Feb.); Wettstein R., in Engl. Pflanzenfam., 4-3-b: 65 (1897).

○植物採集覽書 (其八) (奥山春季) — S. OKUYAMA, Tentative list of plants for collectors (8)

茨城縣

○潮來

植物 [單] センニンモ, ササバモ, ミヅヒキモ, ヤナギモ, エビモ, ヒロハノエビモ, イバラモ, アギナン, ジャウラウスゲ, オニスゲ, シホクグ, オホハリキ, クロダワイ, ヒメホタルキ, マツカサススキ, トラノハナヒゲ, ヒロハノカウガイゼキシヤウ, タチカウガイゼキシヤウ, サギサウ, ミヅトンボ. [離] ホソバノウナギツカミ, カハホネ, ジュンサイ, ムジナモ, エゾミソハギ, [合] サハトラノフ, ヒメナミキ

文献 鈴木靖: 常陸國潮來附近産植物 植雜 15: 250-255, 271-275 (1901)

○鹿島神宮

植物 [羊] ヘラシダ, イハヒメワラビ, ホソバカナワラビ, ウラジロ, オホハナワラビ, ミヅニラ. [單] クサドウ, スナンバ, ワセヲバナ, ケカモノハシ, ハマアオスゲ,